

科目名	東アジア比較開発B	科目コード	1562	単位数	2
担当者名	田村 亨	開講セメスター	第2セメスター	開講年次	1年次

● 授業のねらい

今後、高度な人的資本市場のグローバル化が進み、各国の経済が金融や実物生産などに分化する時代に入ると、わが国の優位性を踏まえた中長期の世界市場戦略が必要となる。本講義は、欧州の地域開発事例を学んで東アジアの新しい仕組みを理解するとともに、東アジアにおけるわが国の役割について討論する。講義では、地域計画に関わる課題を国際比較の中で解いて、実践的な課題解決能力を身に付けることにより、自らの課題を発見し解決する能力を身につける。

● 到達目標

- ・ドイツとフランスの地域開発方法を学び、わが国との違いを理解する
- ・わが国の世界市場戦略について、その必要性と仕組みを理解する
- ・東アジアの地域開発に関わるわが国の役割について理解する
- ・欧米先進国の地域計画に関わる課題を理解して、実践的な課題解決能力を身に付ける
- ・以上を踏まえて、国際社会における多様な価値観や世界観を理解し、国際的視野に立つ異文化コミュニケーション能力を身につける

● 授業内容

- 1週目 新しい時代の流れ： 経済から福祉へ
- 2週目 新しい時代の担い手： ミレニウムズ
- 3週目 人口と経済発展、格差（東アジアが抱える課題）
- 4週目 社会資本整備と環境・エネルギー（東アジアが抱える課題）
- 5週目 財政、金融、開発援助資金（東アジアが抱える課題）
- 6週目 ドイツの地域開発
- 7週目 フランスの地域開発
- 8週目 豊かで美しい地域空間を考える
- 9週目 安全安心な地域空間を考える
- 10週目 地域の合意形成
- 11週目 地域の担い手と起業
- 12週目 資金提供・人材（わが国の世界市場戦略）
- 13週目 社会資本整備（わが国の世界市場戦略）
- 14週目 東アジアの地域開発に関わるわが国の役割（資金提供・人材）
- 15週目 東アジアの地域開発に関わるわが国の役割（社会資本整備）
- 16週目 東アジアの開発について + 試験

● 準備学習(予習・復習)等の内容

授業は、「講義」と「ケ-ス・ディスカッション」から構成され、与えられた課題について討論するため予習が必要となる。また、授業中に、小テストを行い、理解を確認する機会を設ける。以上に対応するため、週3時間の予習と復習を行うこと。

● 成績評価の方法・基準

ケ-ス・ディスカッションと小テスト（40%）、期末試験（60%）で評価する

● 履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

公表データを用いた具体的な実証分析が求められる。授業の各回において、小テストを実施する。

● テキスト

講義時に資料を配布する

● 参考書

戸堂康之著 「開発経済学入門」 新世社 2015

● 更新日付

2019/03/02 02:28